

資料

- 資料No.1 「教師力 自己相互研鑽のために」ワークシート
- 資料No.2 「教師力ICT活用指導力チェックシート」
- 資料No.3 自己分析シート
- 資料No.4 個人目標設定シート
- 資料No.5 個人年間研修計画表
- 資料No.6 個人年間研修 中間振り返りシート
- 資料No.7 個人年間研修 振り返りシート
- 資料No.8 「教職員(養護教諭, 栄養教諭を含む)が各ライフステージで身につけるべき教職員の資質・能力」一覧

これらの資料は、四日市市立教育センター「[教育情報データベース](#)」からダウンロードすることができます。各校園では、このデータベースから引き出した資料を、必要に応じて加工し、活用してください。

本プログラムは、四日市市立教育センター・研究調査報告第373集「教育センター研修と校内研修・OJT研修との関連を図った効果的な研修の在り方に関する研究」を基に作成しています。

四日市市立教育センターHP <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>

単年度ごとに、本プログラムの効果を測定し、システムについての評価を実施します。それに基づき、次年度の実施要項等を修正していきます。

本サポートブックに関する問い合わせは、以下へお願いします。

【四日市市教育委員会教育支援課】

電話：059-354-8149

E-mail: kyouikushien@city.yokkaichi.mie.jp

資料No.1 「教師力 自己相互研鑽のために」 ワークシート

I	項目名		初任	5年	10年	15~20年	自己評価	
	A 主に自己研鑽に関わること							
分類名	観点	具体的な教師力						
1研修 (主に修養)	①社会人としての基礎 (基本的素養)	誰に対しても適切なあいさつができる。	○					
		時と場合に応じた身だしなみができる。	○					
		電話に対して、学校名・名前を明確に伝えてから内容に対応できる。	○					
		時間をきちんと守ることができる。	○					
		いつも明るくふるまうことができる。	○					
		わからないことを同僚や先輩と相談したりして学ぶことができる。	○	○				
		他者や事例から学び常に自らを反省する姿勢をもつことができる。(服務に関して)	○	○				
	②教師としての資質	相手の気持ちを思いやりをもって受け止めることができる。	○	○				
		困難な状況に対して、改善のチャンスとして受け止める発想をもち粘り強く実践できる。	○	○				
		③人権感覚	基本的に子どもが好きである。	○				
		教えることに喜びを感じることができる。	○					
		教育に対して、自分なりの理想をもち、理想の実現のために努力できる。	○	○				
		児童・生徒の模範となる姿勢を身につけている。	○	○				
③人権感覚	子どもの成長をともに喜ぶことができる。	○	○					
	多様な考えを柔軟に受け止め、誰とでもコミュニケーションをもつことができる。		○	○				
	学校を支えるものとして、地域やPTA、関係機関との連携の視点をもつことができる。		○	○				
	先輩の指導を素直に受け入れ実践することを通して自分なりの考えを構築することができる。		○	○	○			
	自分の考えを伝えるとき、相手に受け入れられるようなコミュニケーションをすることができる。				○	○		
	自分の言動を絶えず振り返りながら、常に人権感覚を高めるために努力できる。	○	○					
	様々な人権問題に対して関心をもち、身近な生活の中の課題と重ねてとらえることができる。	○	○					
人権の視点から学校教育の内容を見直し、改善することができる。				○				

I	項目名		初任	5年	10年	15~20年	自己評価	
	A 主に自己研鑽に関わること							
分類名	観点	具体的な教師力						
1研修 (主に修養)	④職務に対する姿勢	与えられた仕事に対して、自分のできる限りの努力をもって処理することができる。	○					
		同僚のよいところを見つけて評価できるとともに自分のものとすることができる。	○	○				
		様々な考えを受け入れつつも、一つの考え方にとらわれないバランス感覚をもつことができる。		○	○			
		様々な事案に対して毅然とした態度で対処することができる。		○	○			
	⑤自己認知 (自分の個性)	自分のよさ・弱点を認識することができる。	○	○				
		自分の健康状態を意識し、健康管理ができる。	○	○				
		趣味や特技をもっている。			○	○		
2 研修 (教育観等)	①校内研修	自分のよさ・弱点を認識し、よさを更に伸ばし、弱点を克服しようとするすることができる。			○	○		
		自分の趣味や特技を教育現場に活かすことができる。			○	○		
		②自主研修 (校外研修含)	研修会に積極的に参加し、自分なりに学んだことを整理することができる。	○	○			
		自分から進んで、授業公開をすることができる。			○	○		
		自分のよさ・弱点を把握し、自分なりの課題克服のために努力できる。			○	○	○	
		自分の学んだことを学校全体の教師力の向上のために発信できる。				○	○	
		基本的な姿勢や技術を指導することができる。				○	○	
	②自主研修 (校外研修含)	学校全体に対して改善のための具体策を提示できる。				○		
		学校づくりビジョンを実現するための研修会となるようリードすることができる。				○		
		的確な指導・助言ができるとともに、自校の研修会の課題を提示できる。					○	
		校外の様々な研修会に積極的に参加し、多くの技術や理論を自分のものにしようとするすることができる。	○	○				
		多くの良い授業に接し、自らのめざす授業像を描くことができる。			○	○		
		課題意識をもって研究をすることができる。			○	○		
②自主研修 (校外研修含)	自らの専門性を高めるため、外部の研修会に自主的に参加することができる。			○	○			
	多くの専門書を読むことで自らの専門性を高めることができる。				○	○		
	自分なりの得意分野の一つはもち、研修会の講師を務めることができる。					○		

資料No.2 「教師力 ICT 活用指導力チェックシート」

ICT活用指導力の基準案(チェックリスト)小学校版

4: かなりできる、3: 少しできる、2: あまりできない、1: まったくできない
(該当するところに○印を)

分類	具体的なICT活用指導力	4	3	2	1
A 教材研究・指導の準備・評価等にICTを活用する能力	1 授業のどの場面で、コンピュータやインターネットなどをどのように活用するかについて計画を立て、活用する機器を準備する。				
	2 授業で使う教材や参考資料などを事前に集めるために、インターネットやCD-ROMなどを活用する。				
	3 授業で使う資料やワークシートを作成するために、コンピュータやワープロソフト、プレゼンテーションソフトなどを活用する。				
	4 児童の学習成果や作品をデジタルカメラやスキャナーなどで記録するとともに、学習情報の記録を表計算ソフトなどで効果的に処理し、指導に活かす。				
B 授業中にICTを活用して指導する能力	1 学習への興味・関心を高めるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料や教材を効果的に提示する。				
	2 めあてや課題をつかませるために、コンピュータや提示装置などを活用して、図・表・グラフ・資料などを提示する。				
	3 わかりやすく説明したり、思考や理解を深めたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して、学習内容を提示する。				
	4 体験をふり返ったり、体験と比較させたりするために、コンピュータや提示装置などを活用する。				
C 児童のICT活用を指導する能力	1 児童がインターネットやコンピュータなどを活用して、必要な情報を選んだり整理したりすることができるように指導する。				
	2 児童がワープロソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用して、わかりやすく発表したり効果的に表現したりできるように指導する。				
	3 児童がワープロソフトや表計算ソフトなどを活用して、文章や図表に効果的にまとめることができるように指導する。				
	4 児童が学習用ソフトやインターネットなどを活用して、くり返し学習したり練習したりして、知識や技能の習熟を図れるように指導する。				
D 情報モラルを指導する能力	1 発信する情報や情報社会での行動に責任を持ち、相手のことを考えた情報のやりとりができるように指導する。				
	2 情報社会の一員としてルールやマナーを守って、情報を集めたり発信したりできるように指導する。				
	3 情報社会の危険から自ら身を守るとともに、情報の信頼性を確かめ、不適切な情報に対処できるように指導する。				
	4 生活の中で必要となる情報セキュリティの基本的な知識や考え方を身に付け、安全面や健康面に注意しながら適切に情報を利用できるように指導する。				
E 校務にICTを活用する能力	1 校務分掌や学級経営に必要な情報をインターネットなどで集めて、ワープロソフトや表計算ソフトなどを活用して文書や資料などを作成する。				
	2 保護者・地域、教員間の連携協力を密にするため、インターネットや校内ネットワークなどを活用して、必要な情報の交換・共有化を図る。				

資料No.2

ICT活用指導力の基準案(チェックリスト)中学校版

4: かなりできる、3: 少しできる、2: あまりできない、1: まったくできない
(該当するところに○印を)

分類	具体的なICT活用指導力	4	3	2	1
A 教材研究・指導の準備・評価等にICTを活用する能力	1 生徒が学習活動に意欲的・主体的に取り組むために、授業のどの場面にコンピュータやインターネットなどを活用したらよいかを計画する。				
	2 授業で使う教材や参考資料などを事前に集めるために、インターネットやCD-ROMなどを活用する。				
	3 授業に必要な情報を印刷したり提示したりするために、ワープロソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する。				
	4 指導に活かす評価を充実させるために、デジタルカメラやコンピュータなどを活用して生徒の作品や学習状況を記録したり管理・集計したりする。				
B 授業中にICTを活用して指導する能力	1 授業導入時に学習に対する生徒の興味・関心を高めるために、コンピュータやインターネットなどを活用して資料などを効果的に提示する。				
	2 疑問点や問題点などを明確にして生徒一人一人に課題意識を持たせるために、随時コンピュータやインターネットなどを活用して資料などを効果的に提示する。				
	3 授業展開時に学習内容をわかりやすく説明したり生徒の思考を深めたりするために、コンピュータやインターネットなどを活用して資料などを効果的に提示する。				
	4 学習内容をまとめる際に生徒の知識定着を図るために、コンピュータやインターネットなどを活用して資料などをわかりやすく提示する。				
C 児童のICT活用を指導する能力	1 生徒がコンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり選択したりできるように指導する。				
	2 生徒がワープロソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用して、わかりやすく説明したり効果的に表現したりできるように指導する。				
	3 生徒がワープロソフトや表計算ソフトなどを活用して、文章や図表により効果的にまとめることができるように指導する。				
	4 生徒が学習ソフトやインターネットなどを活用して、繰り返し学習したり練習したりして知識の定着や技能の習熟を図れるように指導する。				
D 情報モラルを指導する能力	1 情報社会への参画にあたって責任ある態度と義務を果たし、情報に関する自分や他者の権利を理解し尊重できるように指導する。				
	2 情報の保護や取り扱いに関する基本的なルールや法律の内容を正しく理解し、反社会的な行為や違法な行為などについて適切に判断し行動できるように指導する。				
	3 情報を活用する際にもなう危険について理解し、それに対処するための方法を身に付け、情報を正しく安全に活用できるように指導する。				
	4 情報セキュリティに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、コンピュータやインターネットを安全に使えるように指導する。				
E 校務にICTを活用する能力	1 校務分掌や学級経営に必要な情報をインターネットなどで集めて、ワープロソフトや表計算ソフトなどを活用して文書や資料などを作成する。				
	2 保護者・地域、教員間の連携協力を密にするため、インターネットや校内ネットワークなどを活用して、必要な情報の交換・共有化を図る。				

Ⅱ 指導力 主に子どもの生活に関わること（生徒指導）		
1 生活指導 ① 指示の出し方 ② ルール指導 ③ 生活習慣 ④ 清掃指導 ⑤ 昼食指導 ⑥ 健康・保健 ⑦ 生徒会・部活動	3 保護者との連携 ① 家庭訪問 ② 協働の方向性	強み
2 いじめ，不登校等への対応 ① 指導の方向性 ② 校内組織の活用 ③ 外部との連携		弱み

Ⅲ 経営力 主に経営・組織に関わること		
1 学級経営 （対子ども） ① 経営計画 ② 子どもとの関係 ③ 班活動 ④ 通信 ⑤ 整理整頓 ⑥ 学級掲示 ⑦ 係活動	2 学年経営 ① 教職員組織 3 学校経営 ① ビジョン ④ 経営 ⑤ 情報管理	強み
		弱み

Ⅳ ICT活用指導力に関わること		
A 教材研究・指導の準備・評価等にICTを活用する能力	C 児童のICT活用を指導する能力	強み
B 授業中にICTを活用して指導する能力	D 情報モラルを指導する能力 E 校務にICTを活用する能力	弱み

③ 総合自己評価

自分の強み（実践できていること・充実している力）

自分の弱み（今後の課題・つけたい力・実践したいこと）

資料No.4

個人目標設定シート「個人の研修テーマを明確にしよう！」

その1 自己分析シートの結果から

自分の分析結果を振り返って

グループ討議を受けて（参考になった意見，感じたことなど）

その2 目標を設定しよう

個人の担当目標 校務分掌 各分掌の目標 組織全体の目標	
個人の克服目標 教職員としての課題 教科指導，生徒指導 学級経営など	
個人の伸長目標 教職員としての伸長 社会人・職業人 としての資質向上	

- ◇設定した目標について、「緊急度」「重大度」「難易度」などを考慮し，優先順位をつけましょう。
- ◇その目標を達成するための方法（校外研修，校内外研修，自己研修）を検討しましょう。
- ◇何を，どの程度まで，どのようにして，いつまでに，を考慮して，研修計画を立てましょう。